

～本日の出席本紹介②～書名（請求記号・配架先）

- D : Морские рассказы
(R/Ⅲ/450 ・書庫1層)
* 1893年生まれ、直訳タイトル『海洋短編集』です。
- E : Спутник до Маньчжурии
(R/Ⅳ/461 ・書庫1層)
* 1900年生まれ、直訳タイトル『満州までの道連れ』

☆取材対象にロシア語の本が多いのは、本学ロシア語学科の歴史と伝統によるものと思われます。これらの本について、もっと知りたい！という方は、ロシア語をがんばって勉強して、本物を手にとって読んであげてください。☆

- 司会 さて、NHKドラマ『坂の上の雲』に出演予定のみなさんにもお越しいただいておられます。ひとこと、お願いします。
- D まあ、二〇一〇年秋の放映予定です、ワンシーンですから、あまり期待しないでください。
- E お互い世に出て、一〇〇年以上経ちますが、羊皮紙の装丁ではなくて幸いでしたな。

D 最近では、手に取っていただくときも、おそろおそろで、かえって恐縮することしきりですよ。まだまだ、壊れましょと声をかけたくなるときがありますな。

E 大切にしていたのもありますが、戦災や震災を免れた（注5）幸運な人生、ならぬ本生ですよ。がんばって形をとどめていた甲斐があったもんです。

D われわれ、和蘭訳筈さんのように長生きでもなく、貴重図書でもない活字本ですから、いつでも気軽に会いに来て欲しいものですね。

A ひどいっ、どうせ私はいつ生まれたかわからない（注6）、和装本よっ！ 貴重図書室に隔離されて、依頼がなければ外に出してもらえない棚入り本よっ！

司会（焦）お話が盛り上がってきたところではありますが、お時間が迫って参りましたので、本日は、これにて失礼します。また機会がありましたら、続きをお伺いします。

貴重図書以外は、みなさんが自由に入れるスペースに何食わぬ顔（？）をして並んでいます。どうぞ、会いに来てください。

執筆・構成 本の声に耳を澄ます会



◆普通の本棚の中に取材を受けた本も一緒に並んでいます。

注1：貴重図書室は、図書館カウンターの後ろの小部屋で、資料の出納がないかぎり照明がつかず、小窓からの明かりしか入らないお部屋です。

注2：杉田玄白らと一緒に『ターヘル・アナトミア（解体新書）』を翻訳した蘭学者です。

注3：『日本思想体系』とは、日本の思想を研究する上で基本になる資料を集めて活字化した全67巻のシリーズ図書です。『古事記』や『風姿花伝』も収録されています。

注4：『日本思想体系 64』p.586に掲載されています。

注5：当館は、神田大火（1913年）、関東大震災（1923年）、戦災（1945年）で火災に遭い、蔵書を焼失しました。

注6：当館所蔵の和蘭訳筈は寛政9年（1797年）頃に写本されたと推測されています。

知られざる蔵書たちの座談会

東外大図書館の蔵書のなかには、研究目的で撮影されたり、テレビやドラマの資料として取材を申し込まれたりした本があります。撮影・取材された一部の本をご紹介します。

～本日の出席本紹介①～書名（請求記号・配架先）

- A：和蘭訳筌 前野良沢著（特/665 ・貴重図書室）
*当館貴重図書室在住。本文をご覧ください。
- B：Собрание сочинений в четырех томах (S/9S-8/M271-12/2 ・4F閲覧室)
*マンデリシュターム著作集のうちの第2巻さんです。
- C：Люди, годы, жизнь：книги первая, вторая, третья (S/9S-8/E677/8 ・4F閲覧室)
*エレンブルクの著書『わが回想 人間・歳月・生活』のうちの1冊です。

司会 本日は、取材を受けたことのある本のみなさんにお集まりいただいています。お忙しいところ、ありがとうございます。

本たち お言葉ですが、全然、忙しくなくて、困っています。席……もとい、棚を暖めてばかりですよ。埃も積もるし。

司会 えーっと……。

A あなたたちは、いいじゃない。私なんて、年中、薄暗い棚の中よ（注1）。利用者の方と同じ空気が吸えるし、日光浴もできるし、うらやましいわ。

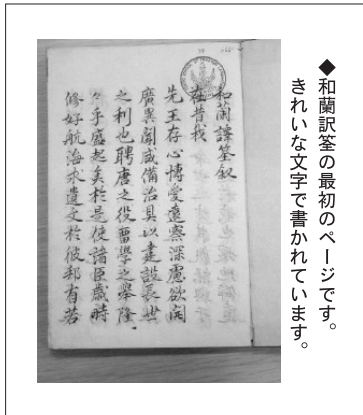
B 和蘭訳筌さん、そんな言い方しないでください。他のみんなが手に取ってもらえないのを横目にしながら、じっとしているのは、せつない気持ちになるんですから。ぼくも読んで欲しい！って言いたくなりますよ。

C ぼくら二冊は『新日曜美術館』で放映しますって言われて、意気揚々と撮影に行ったのに、結局、お蔵入りになっちゃいました。放映されたら、手にとってもらえる機会が増えると期待したのに（泣）。

B ダメだよ、泣いたら、傷んじやうよ。

C 和蘭訳筌さんは、「前野良沢（注2）研究に必要な本ですから、是非！」って言われて、全頁デジタル撮影されましたよね?! 将来は、図書館のホームページから公開されて、確実に超有名本ですよ。

◆和蘭訳筌の最初のページです。
きれいな文字で書かれています。



B もともと日本思想大系（注3）に堂々と紹介されている（注4）、知る人ぞ知る秘蔵本ですからね、ぼくらとは格が違いますよ。

司会 そうなんですよ。図書館職員も問い合わせがあったとき、所蔵している日本思想大系を探して、わざわざ確認したようですよ。

A 私って、そんなに有名な？狭い部屋にいるから、実感ないわ。